

都市の空間とコミュニティをデザインする

歴史的風致を生かす神社のランドスケープデザイン

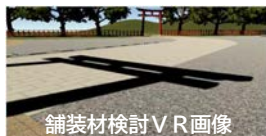
- 上賀茂神社境内地（宮前広場・駐車場周辺）の景観整備設計。文化財や風致景観に配慮した計画・意匠検討及び行政庁への各種申請支援

●賀茂別雷神社 新たな宮前広場づくり

- 宮前の象徴性を高める新設大鳥居の配置、動線計画や線形、舗装などの検討及び設計
- VRを活用した合意形成・協議検討



大鳥居の配置検討VR画像



舗装材検討VR画像

界限性を生み出すまちの構成要素の研究

- 個性や界限性など「よいまち」の構成要素について、現地踏査などを通じて検証を実施

●「まちのよさ」の分類

- 機能・空間・成り立ちなどの視点から「よいまち」を分類、
- 「まちのよさ」を構成する要素を整理

【分類】

飲み屋街型、横丁型、花街型、テーマ特化型、市場・マーケット型、おしゃれ型、通り型



大阪・十三（飲み屋街型）



奥渋谷（おしゃれ型）

都市の夜間景観とデジタルサイネージのコントロール

- 夜間景観とデジタルサイネージ等のコントロール手法の検討（大阪市、神戸市）

●都心部の夜間景観ガイドライン

- 夜間景観づくりの手順や手法を解説

●デジタルサイネージのコントロール

- 3Dモデルによる検討により誘導基準を検討



中之島夜間景観イメージ



3Dモデルによる検討

密集市街地再生に向けた新戦略の研究

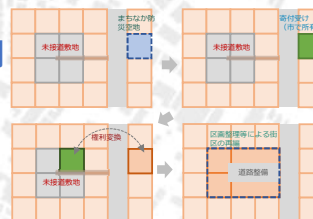
- 大阪・神戸の2都市において密集市街地再生に向けた政策検討を支援

●多孔質化戦略の新展開

- 「空地」の“ストック”を活用した街区再編による更新のスキーム

●不燃化のターゲットシフト

- いわゆる“木賃”“長屋”の減少により共同化から戸建住宅の不燃化への政策シフトを提案
- 防災+エリア魅力向上による市街地再生



2020年度のおもな業務

【都市のマスタープラン・土地利用計画】

- 土地利用方針等検討業務（白井市）

【景観・ランドスケープ】

- 大阪市景観読本改訂業務（眺望・夜間景観形成基準の解説書の検討及び作成）（大阪市）
- デジタルサイネージ等の基準化検討業務（神戸市）
- 2020年度「新景観政策の更なる進化」に向けた検討業務（京都市）
- 玉津島神社宮前広場・参道等実施設計（玉津島神社）

【密集市街地・空き家】

- 2021年度以降の密集市街地重点整備プログラムの策定に向けた検討調査業務委託（大阪市）
- 密集市街地再生方針に基づく評価検証資料作成他業務（神戸市）
- 密集市街地のきめ細やかな整備事例に関する技術資料（素案）作成業務委託（国土技術政策総合研究所）
- 買取再販事業者と連携した戸建て住宅の流通促進調査及び賃貸等による戸建て住宅の新たな利活用可能性調査（国土交通省住宅局）

【市街地整備】

- 相模大野駅周辺における持続可能なまちづくり検討業務（相模原市）
- 既成市街地における個性や界限性のあるまちのよさに係る調査検討業務（都市再生機構）
- まちづくり地域ビジョン及び未利用地活用方策検討業務（大阪市平野区）

チームメンバー

- 坂井 信行（取締役東京事務所長／都市・地域プランニンググループ長／チーム長）
 - ・技術士（建設部門・都市及び地方計画）
 - ・一級建築士
 - ・認定都市プランナー（土地利用計画）
- 水谷 省三（主査）
 - ・一級造園施工管理技士
 - ・登録ランドスケープアーキテクト
- 山崎 将也（主査）
 - ・技術士（建設部門・都市及び地方計画）
- 中井 翔太（主査）
 - ・船場倶楽部、ミナミ御堂筋の会事務局兼務
- 小島 みのり（研究員）
 - ・2020年度より参画

社会活動等

- JIA（日本建築家協会）・都市デザイン研究会
 - ・まちづくりセミナー「建築とまちの価値を高めるデザインレビューを考える」開催
- 船場倶楽部（大阪事務所周辺地域まちづくり組織）
 - ・事務局の一員として、エリアマネジメントや公民連携の取組に参画。



まちの魅力づくりと持続的なマネジメント

【PICK UP】メインストリート・駅前・商店街エリアの魅力・回遊創出のプランニング

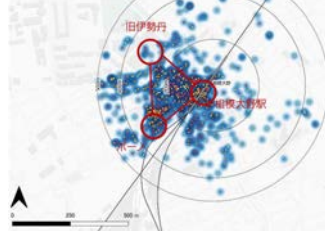
■ウォーカブルなまちなか創出の社会潮流

- ・2020年度は「ウォーカブル元年」ともいうべき一年。歩いて楽しいまちなかづくりへと各地で実践が進み、様々な制度・支援メニューが用意されました。
- ・道路空間は歩行者中心の空間再編・柔軟な活用と大きなパラダイムシフト。歩行者利便増進道路など画期的な制度も用意されました。
- ・メインストリートや駅前の空間再編を契機としつつ、いかにその効果や回遊を面へと広げるか、人流データ等新たな技術なども活用した議論が進んでいます。
- ・しかし、コロナ禍により都心繁華街の様相は一変、非常に厳しい状況に置かれています。アフターコロナの反転攻勢に向け、エリア関係者が一丸となった取り組みが求められます。

■取組ポイント

- ①御堂筋で、道路協力団体としての維持管理・利活用を推進＋歩行者利便増進道路指定によるモデル構築中
- ②社会実験とデータ活用をトライ、成果をエリア関係者との研究会で共有しながら、アフターコロナの回遊創出のビジョンや次なる方策を議論
- ③都心・駅前エリアで交通・人流・データ活用などでエリア分析を実施・戦略立案
- ④データ活用内容を論文として発表、社会実験成果を講演で発表といった形で発信

駅周辺のPOI (Point of Interest) 分析によりエリアの特徴や構造を把握



ウォーカブルなまちなかのデザインプラン提案

社会実験の実施・AIカメラによるデータ取得



人流データ等での検証



【近年の関連プロジェクト】

- ミナミ御堂筋での社会実験実施・検証（2015年、2019年）
- 商店街のビジョン作成支援、回遊性創出プロジェクトの実現化方策検討調査（2018年～）
- 相模大野駅周辺の公共空間活用検討（2020年）
- 周南市都心軸空間デザイン形成支援業務委託（2020年）
- 茨木市中心市街地等における景観形成・保全推進業務（2019年～）

■2020年度のおもな業務

【都心や駅前エリアのビジョン・事業検討】

- 某エリア都市開発検討調査（民間企業）
- あいりん総合センター跡地等利活用にかかる基本構想（活用ビジョン案）策定の支援及び都市計画等検討業務委託（大阪市）
- 中心市街地等における景観形成・保全推進業務委託（茨木市）
- 都心軸空間デザイン形成支援業務委託（周南市）
- 公民連携まちづくり事業推進業務（門真市）
- 戎橋筋商店街振興ビジョン（特別プロジェクト）の実現化方策検討調査（商店街）
- 相模大野駅周辺における持続可能なまちづくり検討業務委託（相模大野市）

【エリアマネジメント支援】

- ミナミ御堂筋の会の運営支援・社会実験実施（民間他）

【都市計画マスタープラン等】

- 立地適正化計画策定等にかかる検討支援（堺市、宝塚市他）
- 都市計画マスタープラン策定支援業務（伊丹市他）
- 都市計画マスタープラン及び緑の基本計画改訂業務（周南市）

【まちづくり検討】

- たかつきアート博覧会活性化検討業務（民間）
- 既成市街地における個性や境界性のあるまちのよさに係る調査検討業務（UR都市機構）
- 空き家の利活用に向けた調査検討業務（神戸市他）
- 市立川西病院・大和団地線再編検討業務（川西市）
- 都市交通に関する移動実態分析検討業務（摂津市）

■チームメンバー

- 絹原 一寛（チーム長）
 - ・技術士（建設部門：都市及び地方計画）
 - ・一級建築士
 - ・認定都市プランナー（景観・都市デザイン）
- 依藤 光代（主査）※2021年6月に育休から復帰
 - ・博士（工学）
 - ・技術士（建設部門：都市及び地方計画）
- 橋本 晋輔（主査）
- 稲垣 和哉（主任）

■社会活動等

- 日本都市計画学会関西支部活動への参加
 - ・第18回関西支部研究発表会での論文発表「ビッグデータを用いたエリアの特質把握と回遊性創出への展開についてー大阪・ミナミ御堂筋を題材にー」（奨励賞受賞）
 - ・「ライフスタイルが紡ぐまちのみらい研究会」における研究活動
- 関西地域創生研究会の運営
 - ・ワーキング研究会による「地場産業による地域活性化研究」ほか
- 関西道路研究会・魅力部会の運営
 - ・研究会の開催（歩行者利便増進道路制度、ウィズコロナの道路空間活用の研究）
- 講演活動
 - ・ほこみち全国会議
 - ・Placemaking Week JAPAN 2021「ストリート×プレイスメイキング：歩行者利便増進道路とストリートプレイスの可能性」ほか

緑の活用を重視した緑の基本計画改定

- 人口構造の変化やライフスタイルの多様化などを背景に、都市部の住民の緑に対するニーズに変化
- 働き方改革や新型コロナ感染症拡大等を受け、身近な公園・緑地に対する住民の期待は拡大かつ多様化が進行
- まちづくりの基本的な考え方が量的拡大から質的な向上、行政主導から官民連携に方向転換が図られつつあり、都市緑地法等の改正もそれを後押し
- 東京都小平市や大阪府岬町などで緑の基本計画改定業務を受注

●緑の活用と維持管理を重視

- 従来の景観形成や防災などに加え、保健福祉や子育て、観光・交流など様々な分野における緑の活用方を計画に位置付け、市民による緑の一層の活用を促進
- 地域や民間との連携による公園の維持管理（Park-PFI）なども位置付け、協働による維持管理も促進



官民連携による産業団地開発の支援

- 製造業の国内回帰、物流業の発展、自然災害対応などを背景に、産業用地需要が高まっている
- 国や地方自治体も産業立地を促進するも、時代は行政主導から民間主導へと移行
- 民間活力の活用、官民連携による産業団地開発に係るコーディネートが求められている
- 加古川市水足戸ヶ池地区で、農場とため池（廃止）を産業団地に再開発する事業の地元コーディネートと事業プロデュースを担当

●まちづくり協議会の主導＝公益性確保

- 地権者＋地縁団体によるまちづくり協議会を設置し、計画の検討・推進・調整の主体に位置付けることで、「公益最優先」を確保

●事業化検討パートナー方式を採用

- 事業実施の前段階でパートナー企業を募集し、事業条件を整える取組への先行投資を確保、デベロッパー選定や事業実施へ円滑に移行



草木が繁茂する水足地区
(2021年夏着工予定)

地区特性に応じた景観の継承・住民参加

- 景観計画の策定、それに基づく住民主体の景観まちづくりの取組などを支援
- 八尾市（2018年景観行政団体移行）において、歴史的な景観資源やまちなみが残る久宝寺寺内町の景観重点地区指定に向けた支援（2020年指定）

●地元との事前協議制度の導入

- 町家や水路等と調和した景観の喪失に対する地元の危機感から、住民自らが協議の場に立ち、設計者と意見交換する場の設定、事前協議制度の位置づけ等を通じて、緩やかな景観誘導の仕組みを検討
- 先進事例への視察等による制度の勉強、運用に向けて必要なこととの意見交換を行いながら検討

●ガイドラインの作成

- 特に重視にしたい配慮ポイントをワークショップで意見交換しながら、ガイドラインを検討



まちなみの将来イメージ

■2020年度の主な業務

【都市計画マスタープラン】

- 都市計画マスタープラン策定業務（高槻市、生駒市、多可町、垂井町、播磨町など）

【みどりの基本計画・景観計画】

- みどりの基本計画策定業務（小平市）
- 景観まちづくり支援業務（八尾市、大東市、堀川（名古屋）、那古野（名古屋））

【歴史まちづくり・文化財保存活用計画】

- 川越市歴史的風致維持向上計画（第2期）策定業務委託
- 瀬戸内市文化財保存活用地域計画策定支援業務

【まちづくり計画など】

- 京都市における次期各区基本計画策定に向けた取り組み支援業務（北区）
- 水足戸ヶ池周辺地区における産業系土地利用実現化支援業務（加古川市）
- ライフデザインを考える啓発冊子制作業務（岐阜市）

■チームメンバー

○岡本 壮平（取締役大阪事務所長、グループ長）

【資格】技術士（建設部門：都市及び地方計画）、一級建築士、認定都市プランナー（土地利用計画）

【社会活動等】JUDI都市環境デザイン会議関西ブロック

○石川 聡史（チーム長）

【資格】技術士（建設部門：都市及び地方計画）

○清水 紀行（チーム長）

【資格】技術士（建設部門：都市及び地方計画）、RCCM（都市計画及び地方計画）、認定都市プランナー（総合計画）

【社会活動等】日本計画行政学会関西支部 事務局（幹事）

○松下 藍子（主任）

【社会活動等】日本都市計画学会関西支部（編集広報委員会）

○松川 育世（研究員）

○福井 秀樹（主幹／名古屋）